

実績写真



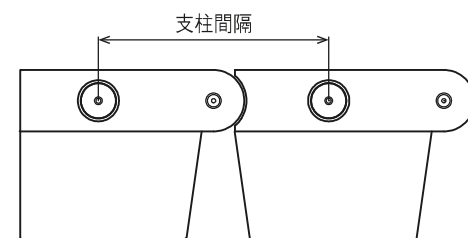
各規格の組み合わせによる支柱間隔

組み合わせ	支柱間隔
L=2.0 + L=2.0	2.0m
L=2.0 + L=1.5	1.75m
L=2.0 + L=1.25	1.625m
L=1.5 + L=1.5	1.5m
L=1.5 + L=1.25	1.375m
L=1.25 + L=1.25	1.25m

← ガードパイプ標準間隔

← 歩行者通行の安全を配慮した
ポラード設置に適した間隔

← 歩行者通行の安全を配慮した
ポラード設置に適した間隔



3種類の長さ規格の組み合わせにより
現場条件に合わせた設置を可能とします

株式会社イビコン

本社：岐阜県大垣市津村町2丁目65番地
TEL:0584-82-5100 FAX:0584-81-9596

CADデータダウンロード
導入事例など紹介しています！

<http://www.ibicon.co.jp> **イビコン** 検索



配布No. G024-20200101-5



直線からカーブへ フレキキャスト連続基礎

自在R連続基礎 交差点タイプ



防護柵設置を可能に
歩行者を守る基礎ブロック

交差点用 自在R
連続基礎



製品特長

○短延長(5m)で安全確保

基礎断面(幅)を大きくすることで、短延長での安全確保を実現します。

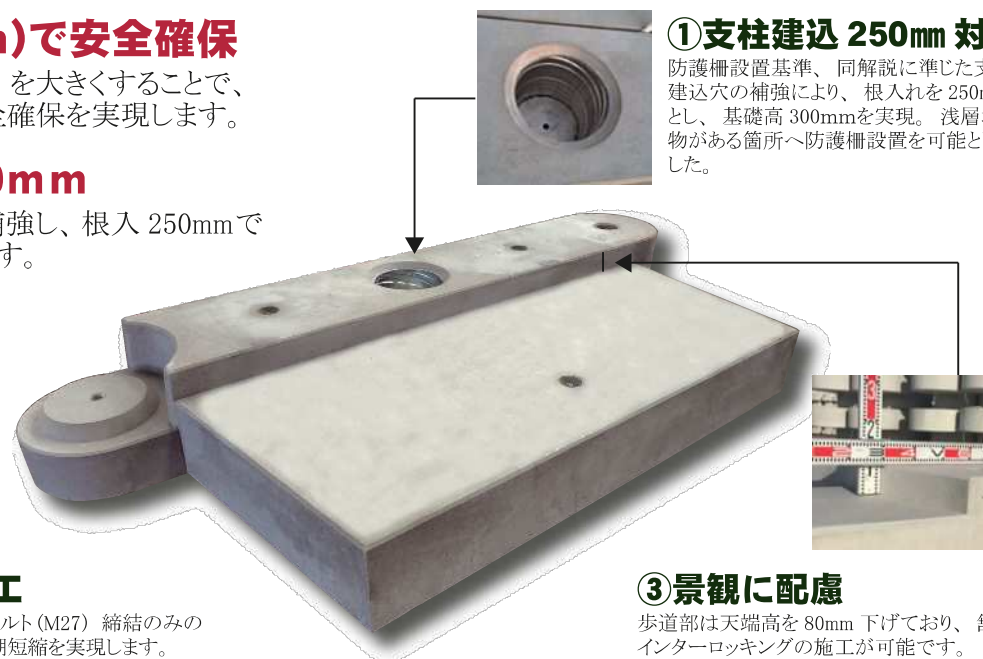
○基礎高 300mm

支柱建込穴を補強し、根入 250mm で安全を確保します。



②容易な施工

上下組み合わせ + ボルト(M27) 締結のみの容易な施工により工期短縮を実現します。



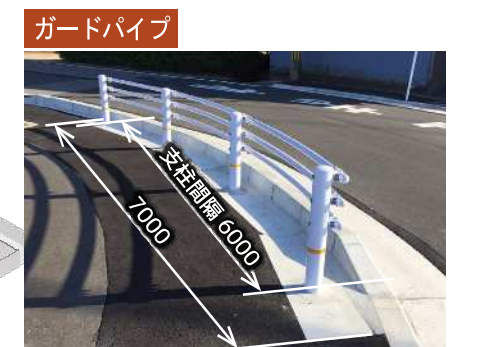
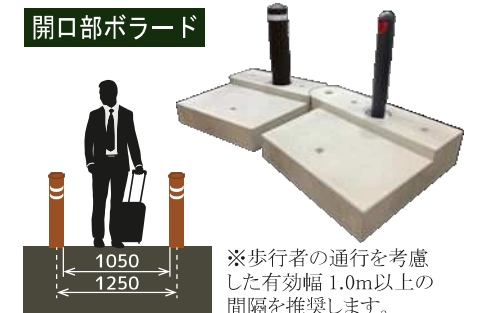
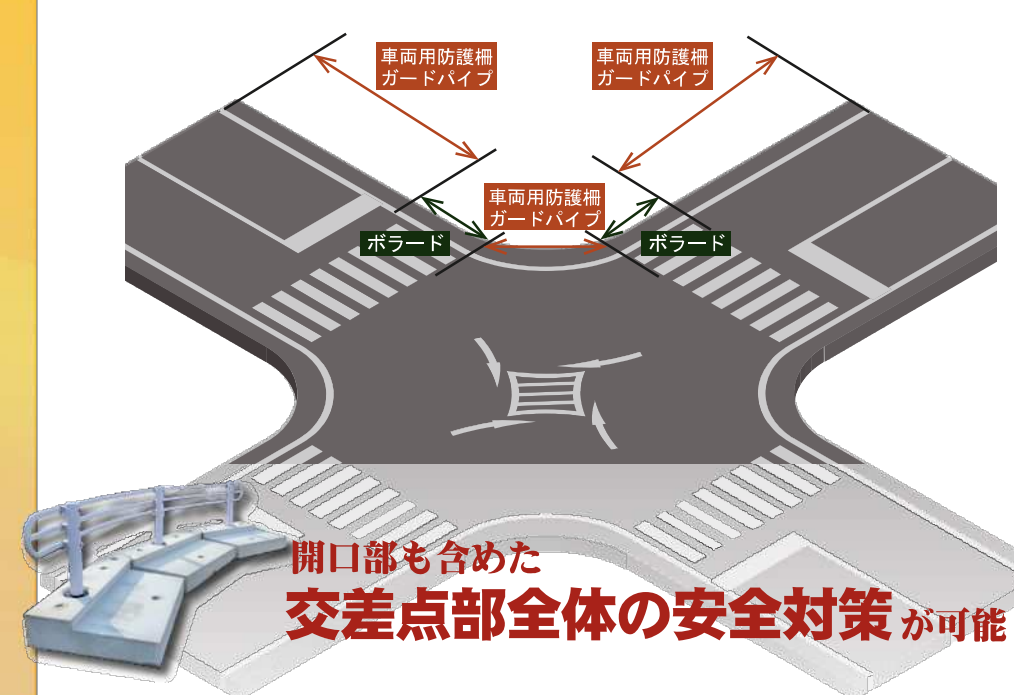
①支柱建込 250mm 対応

防護柵設置基準、同解説に準じた支柱建込穴の補強により、根入を 250mm とし、基礎高 300mm を実現。浅層埋設物がある箇所へ防護柵設置を可能とした。

③景観に配慮

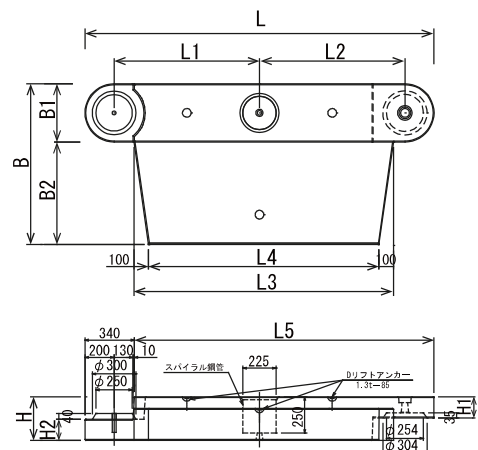
歩道部は天端高を 80mm 下げており、舗装・インターロッキングの施工が可能です。道路の見た目を圧迫しません。

交差点用自在 R 連続基礎設置例



製品寸法

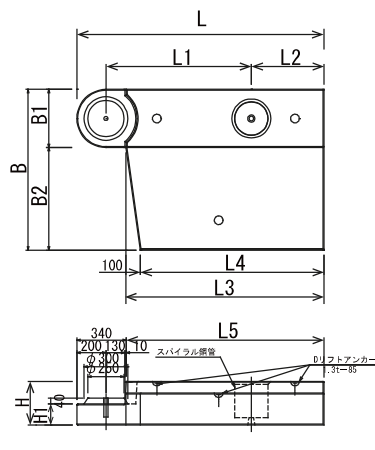
基本



規格	B	B1	B2	H	H1	H2
L=2.0						
L=1.5	1105	400	705	300	145	145
L=1.25						

規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量(kg)
L=2.0	2400	1000	1000	1785	1585	2060	1157
L=1.5	1900	750	750	1285	1085	1560	828
L=1.25	1650	625	625	1035	835	1310	662

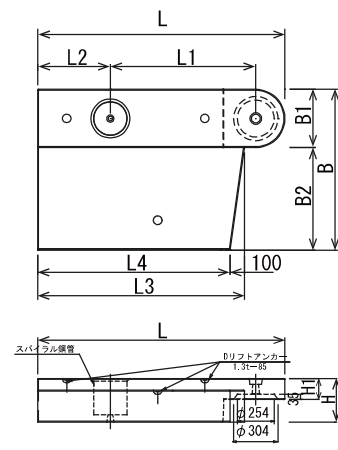
端部A



規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					

規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量(kg)
L=2.0	1700	1000	500	1363	1263	1360	895
L=1.5	1450	750	500	1113	1013	1110	730
L=1.25	1450	625	625				

端部B



規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					

規格	L	L1	L2	L3	L4	重量(kg)
L=2.0	1700	1000	500	1422	1322	900
L=1.5	1450	750	500	1172	1072	734
L=1.25	1450	625	625			

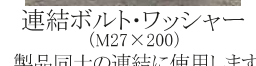
施工方法



D リフトカップラー
製品の吊り上げに使用します。



チェーンスリング
底版部のチェーンの長さ調整に使用します。



連結ボルト・ワッシャー
(M27×200)
製品同士の連結に使用します。



チェーンスリング
底版部のチェーンの長さ調整に使用します。



T 型レンチ
連結ボルトの締結に使用します。

製品設置



製品に設けられた凸凹を目安に、基礎同士を重ね合わせて設置していきます。

ボルト連結



製品同士を M27 連結ボルトで連結します。ボルト連結後はモルタルを充填しボルトを保護します。

防護柵設置



防護柵はモルタルにて固定してください。

完成



ブラケット・ビームを取り付け完成です。